

各 位

長野県長野市小島田町 80 番地
新光電気工業株式会社
(証券コード 6967)

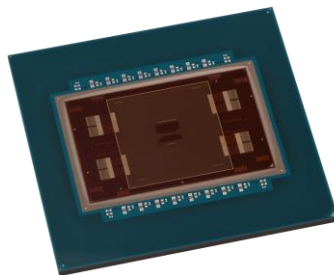
千曲工場の供給確保計画の認定について

当社は、千曲工場（長野県千曲市）における先端半導体向け次世代フリップチップタイプパッケージ（FC-BGA基板）の設備投資計画が、経済産業大臣により、「経済施策を一体的に講ずることによる安全保障の確保の推進に関する法律」に基づく「供給確保計画」に認定されたことをお知らせいたします。これにより、千曲工場における設備投資計画に助成金が交付される予定です。

5Gの普及、AI・IoTの活用拡大、DX（Digital Transformation）の進展等による社会・経済のデジタル化によって、今後も半導体は用途を広げ、需要は中長期的に拡大することが見込まれております。特にサーバー向け等に使用される先端半導体の市場が大きく拡大し、半導体の高性能化、高速化ならびに省電力化が一層求められるとともに、大型化、高多層化、高密度微細配線等を実現することにより、これらのニーズに対応し、さらに進化したFC-BGA基板の需要が飛躍的に高まることが想定されます。当社はこのようなニーズを捉え、「i-THOP[®]」をはじめとした次世代FC-BGA基板の開発を行っており、その量産体制を千曲工場に構築することにより、半導体関連産業の発展やGX（Green Transformation）の実現等、より豊かな社会づくりに貢献してまいります。

当社 代表取締役社長 倉嶋 進は、認定にあたり以下のように述べています。

「日本政府からの支援に感謝いたします。FC-BGA基板は、社会・経済のデジタル化を牽引する高性能半導体において重要性が高まり、半導体進化の一翼を担う存在となっています。最先端の半導体市場においては、大型化、高多層化、高密度微細配線技術により、従来の性能を大幅に上回るFC-BGA基板が求められています。当社開発のi-THOP[®]をはじめとする次世代FC-BGA基板を国内で安定的に生産し、市場に投入していくことにより、半導体関連産業の発展や日本の経済安全保障に貢献してまいります。」



i-THOP[®]

【供給確保計画の概要（予定）】

- (1) 事業者の名称 : 新光電気工業株式会社
- (2) 投資額 : 533 億円
- (3) 最大助成額 : 178 億円
- (4) 施設 : 千曲工場
- (5) 主要生産製品 : 次世代FC-BGA基板

[i-THOP®について]

当社が開発した i-THOP® (integrated Thin film High density Organic Package : アイソップ) は、高密度配線技術・薄膜技術により形成した超微細配線層とビルドアップ基板を一体化させた F C - B G A 基板です。超微細配線層には、複数のロジックチップの搭載や、ロジックチップと広帯域メモリー (HBM : High Bandwidth Memory) 等の異種チップの搭載が可能であり、当社は、中長期的に大きな成長が見込まれる H P C (ハイパフォーマンスコンピューティング) 市場のニーズに対応する次世代 F C - B G A 基板として市場投入をはかってまいります。

i-THOP は新光電気工業㈱の登録商標です。

以 上

●お問い合わせ先

新光電気工業株式会社

経営企画室広報 IR 部

電話 (026) 283 - 6450 (直通)